

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年3月11日(2010.3.11)

【公表番号】特表2009-527467(P2009-527467A)

【公表日】平成21年7月30日(2009.7.30)

【年通号数】公開・登録公報2009-030

【出願番号】特願2008-553814(P2008-553814)

【国際特許分類】

C 0 7 K 5/062 (2006.01)

C 0 7 C 237/12 (2006.01)

C 0 7 C 237/20 (2006.01)

C 0 7 C 237/24 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 K 5/065 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 5/062

C 0 7 C 237/12 C S P

C 0 7 C 237/20

C 0 7 C 237/24

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 0 7 K 5/065

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月22日(2010.1.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

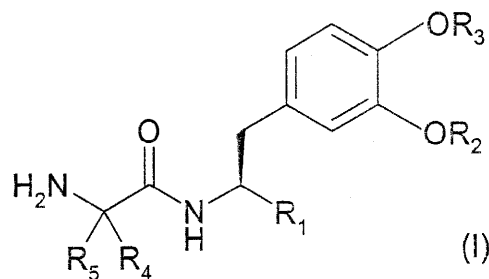
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)：

【化1】



[式中、

R_1 は、カルボキシ、カルボキシエステルまたはカルボキサミド基であり；

R_2 および R_3 は、独立して水素または基 $-C(=O)R_6$ または $-C(=O)OR_6$ (ここで、 R_6 は $C_1 - C_6$ アルキルであるかまたは基 $-CH_2Q$ (ここで、 Q は 3 ~ 6 環原子の任意に置換されている単環式の炭素環式または複素環式環である) である) であり；

R_4 および R_5 は、独立して

(a) 天然アミノ酸の側鎖、または

(b) 任意に置換されている $C_1 - C_4$ アルキル、 $C_2 - C_4$ アルケニル、もしくは $C_2 - C_4$ アルキニル、または

(c) $-CH_2XCH_3$ 、 $-CH_2CH_2XCH_3$ または $-CH_2XCH_2CH_3$ (ここで、 X は、 $-O-$ 、 S または $-NR_7$ (ここで、 R_7 は水素、メチルもしくはエチルである) である)；または

(d) $-CH_2Q$ または $-CH_2OQ$ (ここで、 Q は、 R_6 に関連して定義したとおりである) であるか；または

R_4 および R_5 は、それらが結合している炭素原子と一緒に、任意に第二の、任意に置換された炭素環式または複素環式環に縮合した 3 ~ 8 環原子の任意に置換されているシクロアルキルまたは複素環式環を形成する]

の化合物またはその塩、水和物もしくは溶媒和物。

【請求項 2】

R_1 が、式 $-COOR^C$ (ここで、 R^C は $C_1 - C_6$ アルキルまたは $C_2 - C_6$ アルケニル基である) のカルボキシエステル基である請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3】

R_1 が、 $-CONH_2$ である請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 4】

R_2 および R_3 が、それぞれ水素である請求項 1 ~ 3 のいずれか一つに記載の化合物。

【請求項 5】

R_2 および R_3 は、独立して $-C(=O)R_6$ または $-C(=O)OR_6$ (ここで、 R_6 はメチル、エチル、 n - もしくはイソプロピル、tert - ブチルメチルまたはフェニル環が任意に置換されているベンジルである) である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一つに記載の化合物。

【請求項 6】

R_4 および R_5 の少なくとも一つが、天然アミノ酸の側鎖である、請求項 1 ~ 5 のいずれか一つに記載の化合物。

【請求項 7】

R_4 および R_5 が、独立して任意に置換されている $C_1 - C_4$ アルキル、フェニル、ベンジルシクロプロピル、シクロブチル、シクロペンチル、シクロヘキシル、シクロプロピルメチル、シクロブチルメチル、シクロペンチルメチル、シクロヘキシルメチル、ピリジル、ピリジルメチル、ピペリジニル、ピペラジニルまたはモルホリニルである請求項 1 ~ 5 のいずれか一つに記載の化合物。

【請求項 8】

R_4 および R_5 が、それらが結合している炭素原子と一緒に $C_1 - C_6$ シクロアルキル環を形成し、任意にベンズ - 縮合している請求項 1 ~ 5 のいずれか一つに記載の化合物。

【請求項 9】

いずれかの任意の置換基が、メチル、トリフロロメチル、メトキシ、トリフロロメトキシ、シクロプロピル、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシ、メルカプト、オキソ、 $-NH_2$ 、 $-NHR^A$ または $-NR^A R^B$ (ここで、 R^A および R^B は、独立してメチルまたはエチルである) から選択される、請求項 1 ~ 8 のいずれか一つに記載の化合物。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 9 のいずれか一つに記載の化合物を医薬的に許容な担持体と一緒に含む医薬組成物。